

Fund Letter

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

Morningstar Award “Fund of the Year 2017” 受賞のお知らせ
～担当ファンドマネージャーからのメッセージ

2018年2月2日

平素は、『女性活躍応援ファンド(愛称:椿)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、「Morningstar Award “Fund of the Year 2017”」におきまして、当ファンドが、国内株式中小型 部門にて優秀ファンド賞を受賞いたしました。

今回の受賞にあたり、受益者の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、運用担当者のメッセージをお伝えさせていただきます。



国内株式中小型 部門
(対象ファンド数:243本)
優秀ファンド賞

女性活躍応援ファンド
(愛称:椿)

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2017年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国内株式中小型 部門は、2017年12月末において当該部門に属するファンド243本の中から選考されました。

Morningstar Award “Fund of the Year 2017”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management

基準価額・純資産・分配の推移

〈基準価額・純資産の推移〉

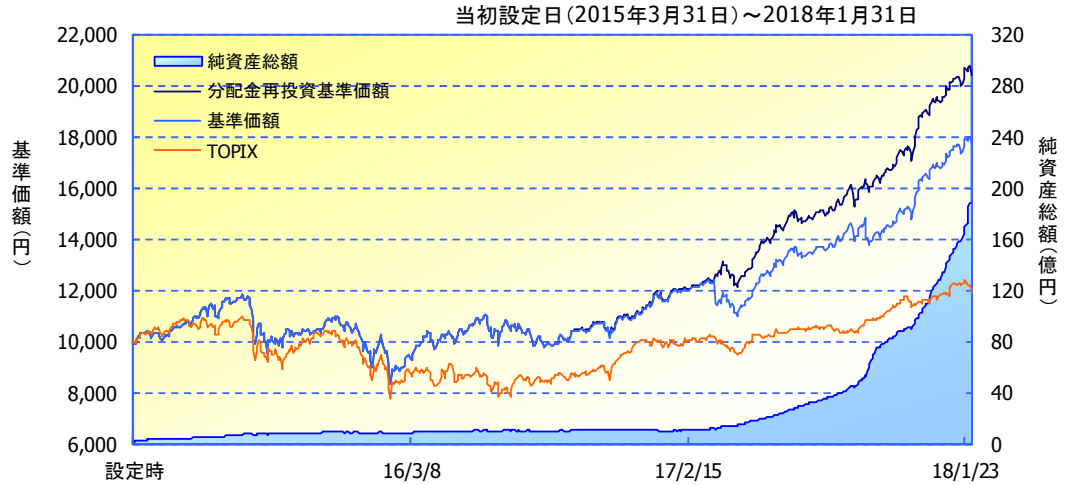
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2018年1月31日現在

基準価額	17,692 円
純資産総額	188億円
TOPIX	1,836.71

期間別騰落率

期間	ファンド	TOPIX
1カ月間	+2.7 %	+1.1 %
3カ月間	+16.8 %	+4.0 %
6カ月間	+35.8 %	+13.5 %
1年間	+69.3 %	+20.7 %
3年間	-----	-----
5年間	-----	-----
年初来	+2.7 %	+1.1 %
設定来	+103.9 %	+19.0 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

〈分配の推移〉

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (15/09)	0円
第2期 (16/03)	0円
第3期 (16/09)	50円
第4期 (17/03)	1,100円
第5期 (17/09)	650円

分配金合計額 設定来: 1,800円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。



■ 当ファンドに対する思い

当ファンドは2015年3月末に設定され、運用開始からもう少しで3年となります。3年前に設定された時は、「5年後の東京五輪までに基準価額を倍にしよう！」という意気込みでスタートしましたが、2018年1月末で分配金再投資基準価額が倍になり目標を前倒しで達成できました。当初は男性がこのファンドの運用をできるのかという不安もありましたが、会社帰りに家電量販店に行って美顔器の売れ行きを見に行ったり、プレゼント用と言って店員の方から商品の説明や評判を聞いたり、スーツ姿で恥ずかしい気持ちがありながらも地道な調査を重ねてきました。今では男性が運用をする強みは、インターネットの口コミやランキングを調べたり、多くの人の意見を聞くことで、思い込みや偏見がなく冷静かつ客観的な分析ができることではないかと思うようになりました。株式市場では、自分が良いと思っても結果として自分が間違っていたということが多くあり、思い込みや偏見を持たずに常に冷静かつ客観的な分析をすることが非常に重要であると考えています。このような地道な調査はもちろん、人手不足が深刻化する中で女性の社会進出などが着実に進んだ結果、良好な運用成績を残せたと思います。

私自身、「女性の活躍」は日本株の成長テーマの一つであると考えていますが、当ファンドが設定されて現在までに多くの人から「女性の活躍が本当に株価上昇に繋がるか？」という意見を多く頂き、心折れそうになった時も何回かありました。しかし、設定当初は、約2億円だった純資産が今は180億円を超えるまでになり今では多くの受益者の皆さまに支持されていると日々実感しています。今回このような賞を受賞できたことも「女性の活躍」が日本株の成長テーマの一つであると少しずつ認められてきたことによるものと思います。受益者の皆さまから継続的なご購入を頂くと、当ファンドを支持して頂いているという実感を持つことができ高いモチベーションに繋がります。この場を借りまして、皆さまに厚く御礼申し上げたいと思います。今後も、皆さまの資産形成に役立てるように日々運用成績の向上に努めていきたいと思っています。



当ファンドのテーマと最近の運用状況

当ファンドでは、「女性の活躍を推進する企業」、「女性の社会進出を助ける企業」、「女性向けまたは女性に人気の商品やサービスを提供する企業」、「女性の所得が増加することにより恩恵を受ける企業」の4つのテーマに着目し、徹底したボトムアップリサーチにより、業績拡大が期待できる企業に投資を行っています。

「女性の社会進出を助ける企業」では、2016年の秋ごろ、政府が進める働き方改革で残業規制が厳しくなったことを実感し、2017年は人手不足がより深刻化し女性の労働力が必要になるとの見通しの下、人材派遣など多くの人材関連銘柄に投資を行いました。その結果、人材関連銘柄は想定通りに業績が拡大し、2017年の株式市場で最も注目を集めたテーマの一つとなり、大きくパフォーマンスに貢献しました。

「女性向けまたは女性に人気の商品やサービスを提供する企業」、「女性の所得が増加することにより恩恵を受ける企業」では、消費者としての女性を顧客とする企業に着目し、女性の社会進出やインバウンド需要により業績拡大が期待される美顔器や化粧品などの美容関連銘柄に投資を行ったことが、大きくパフォーマンスに貢献しました。

当ファンドが着目する4つのテーマ

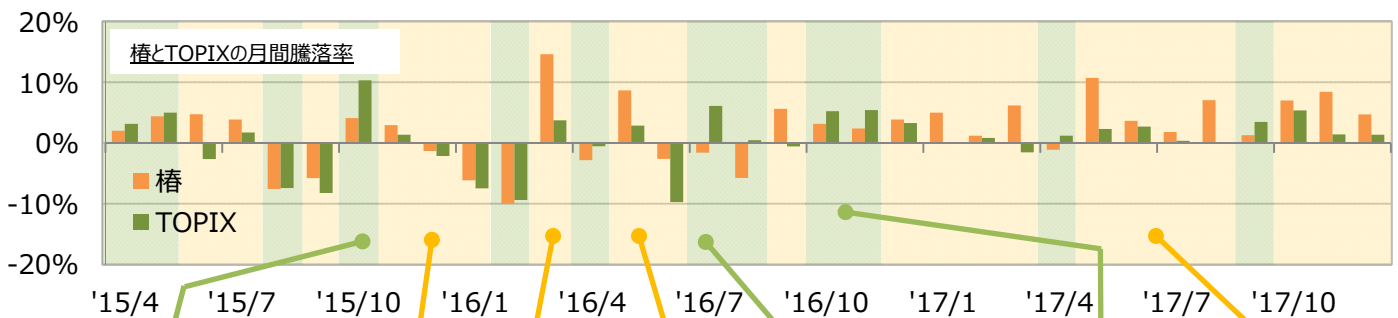
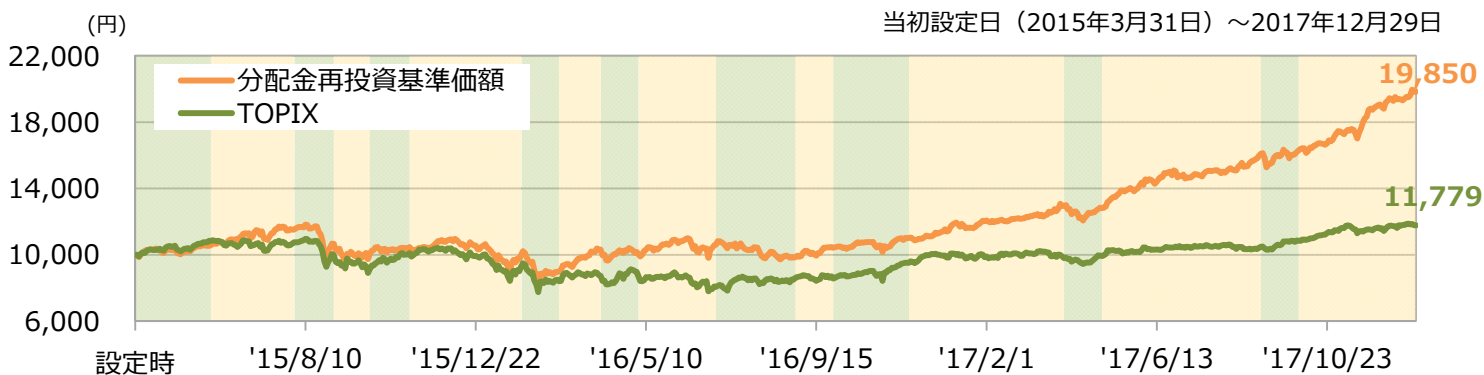


設定来パフォーマンス

当ファンドは2015年3月末に設定され、おかげさまで2017年末時点で約2年9カ月の運用期間が過ぎました。女性の活躍を応援するファンドという特性上、内需関連の銘柄や特徴のある中小型株を多く組み入れています。外需関連の銘柄や大型株等が大幅に上昇する局面ではTOPIXのパフォーマンスを下回る局面もありますが、業績が好調な女性活躍関連銘柄の好パフォーマンスにより、設定来の基準価額はTOPIXの騰落率を大幅に上回って推移しています。

椿の分配金再投資基準価額とTOPIXの推移と月間騰落率


- TOPIXをアウトパフォーマンスした局面
- TOPIXをアンダーパフォーマンスした局面



- 【'15/10】リターン・リバーサル主導の相場展開には追従できず、TOPIXをアンダーパフォーマンス。
- 【'15/11～'16/1】新興国の景気減速懸念、原油価格急落などを受けたグローバル株式調整、円高進行局面。内需セクター主体のポートフォリオが功を奏し、当ファンドはTOPIXをアウトパフォーマンス。
- 【'16/3】決算動向脱みでの個別銘柄選別が寄与しTOPIXを大幅にアウトパフォーマンス。
- 【'16/5～'6】英国のEU（欧州連合）離脱問題により円高が進行し、輸出セクター中心に相場全体は調整色を強める。内需セクター主体の当ファンドはTOPIXをアウトパフォーマンス。
- 【'16/7～'8】日銀のETF購入枠拡大などを背景に大型株主導の相場展開。中小型株主体の当ファンドはTOPIXをアンダーパフォーマンス。
- 【'16/10～'11】米国利上げ観測、トランプ次期大統領の政策期待などを背景に円安が進行。内需セクター主体の当ファンドはTOPIXをアンダーパフォーマンス。
- 【'17/5～'17/8】好決算を発表した個別銘柄の上昇や業種配分効果がプラスに寄与し、TOPIXをアウトパフォーマンス。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（「ファンドの費用」をご覧ください）。
 ※TOPIX（東証株価指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。
 ※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。



今後期待するテーマ・銘柄

当ファンドでは、下記のようなテーマ・銘柄に着目し運用を行っていく方針です。

引き続き、人手不足により女性の労働力が必要になるとの見通しの下、人材関連銘柄に注目していきます。政府の進める働き方改革、日本の高齢化、さらに2020年の東京五輪に向けてますます労働需給は逼迫すると予想しています。また、労働需給の逼迫による女性の社会進出、インバウンド需要、新興国の所得水準の向上による日本製品の需要の高まりを背景に化粧品など美容関連銘柄にも注目していきます。

今後は、女性活躍を支える「Beauty & Wellness」関連銘柄にも注目していきます。株式市場では「健康寿命の延伸」の国策に関心が高まっています。多くの人が「長く健康でいたい」という想いを抱えていると考えられ、予防を意識した健康に関する取り組みが日本全体で進んでいくことが考えられます。また、女性の社会進出が進むにつれ、自身の健康への取り組み、企業の健康支援なども進んでいくと予想しています。世界的に女性の方が男性よりも平均寿命が長いことが知られており、その理由の一つに女性の方が健康に気を遣っているということが挙げられ、女性が行う健康への取り組みは今後関心が高まると考えられます。健康を維持するために必要な3つの重要要素として、「栄養バランスのとれた食事」、「適度の運動」、「十分な休養（睡眠）」がありますが、これらについて女性がどのような取り組みを行っているかを今後の銘柄選択にいかしていきたいと考えています。

今後も、ファンド運用にあたっては、パフォーマンスの向上をめざしてまいりますので引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(以上)

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式の中から、女性の活躍により成長することが期待される企業に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「女性の活躍」に着目して投資候補銘柄を選定します。



2. 徹底したリサーチにより投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄の中から、徹底したボトムアップ・アプローチを重視した個別企業の分析および投資環境の分析を行ない、投資魅力の高い銘柄を選定します。
 - 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは「女性活躍応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク、信用リスク)」、「中小型株式への投資リスク」、「特定の業種への投資リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)2.16%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.566% (税抜 1.45%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号				
飯田信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第252号				
いちい信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第25号				
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○	○		
大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号				
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第34号				
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
興能信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第19号				
埼玉縣信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	○			
しののめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○		
瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第224号				
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第199号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。